

しべちやちょう 標茶町バイオマス産業都市構想の概要

北海道標茶町、人口 約0.8万人、面積 約10.9万ha

構想の概要

家畜ふん尿や食品廃棄物をバイオガス化、間伐材をチップ化し電気・熱を生み出し、一般家庭や公共施設で利用する。バイオマスエネルギーによる自立・分散型エネルギー供給、災害に強いまちづくりを目指す

1. 将来像

- ① 農業資源を活用した持続可能な循環型「農」のまちづくり
- ② 廃棄物処理機能を補完するバイオガス事業の構築
- ③ バイオマス産業化のモデルケース

2. 事業化プロジェクト

- ① 畜産バイオガスプラントプロジェクト
・家畜ふん尿を原料としたバイオガス発電。電力はFIT売電、もしくは地域内供給し、余剰熱は農業ハウスでの利用予定
- ② 木質バイオマスプロジェクト
・林地残材等を主原料とした直接燃焼による熱利用

3. 目標(10年後)

- ① 廃棄物系バイオマス:全体で利用率98.8%
・家畜排せつ物:堆肥化、バイオガス化により利用率100%
・紙ゴミ:利用率81.2%
・剪定枝、流木:利用率44.3%
- ② 未利用バイオマス:全体で利用率55.5%を目指す
・圃場残渣:堆肥化により利用率100%
・林地残材;チップ、ペレット化により利用率49.6%

4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果:2.12億円
(北海道産業関連分析シートを用いて算出)
- ② 新規雇用創出効果:13人
- ③ その他の波及効果
・温室効果ガスの排出削減
・防災、減災への寄与
・エネルギーの地産地消
・肥料、敷料購入費の節減
・廃棄物の減量
・視察者、観光者の受入れ

5. 実施体制

町が「標茶町エコヴィレッジ推進協議会」と協力し、バイオガスプラントの運営協力

6. その他

- ・「標茶町第4期総合計画」(H23)
- ・「酪農・肉用牛生産近代化計画」(H28)
- ・「標茶町創生総合戦略」(H28)
- ・「バイオマス活用推進計画」(H28予定)

標茶町バイオマス産業都市イメージ図

～家畜排せつ物のエネルギー化、肥料化を中心とした循環型「農」のまちづくり～



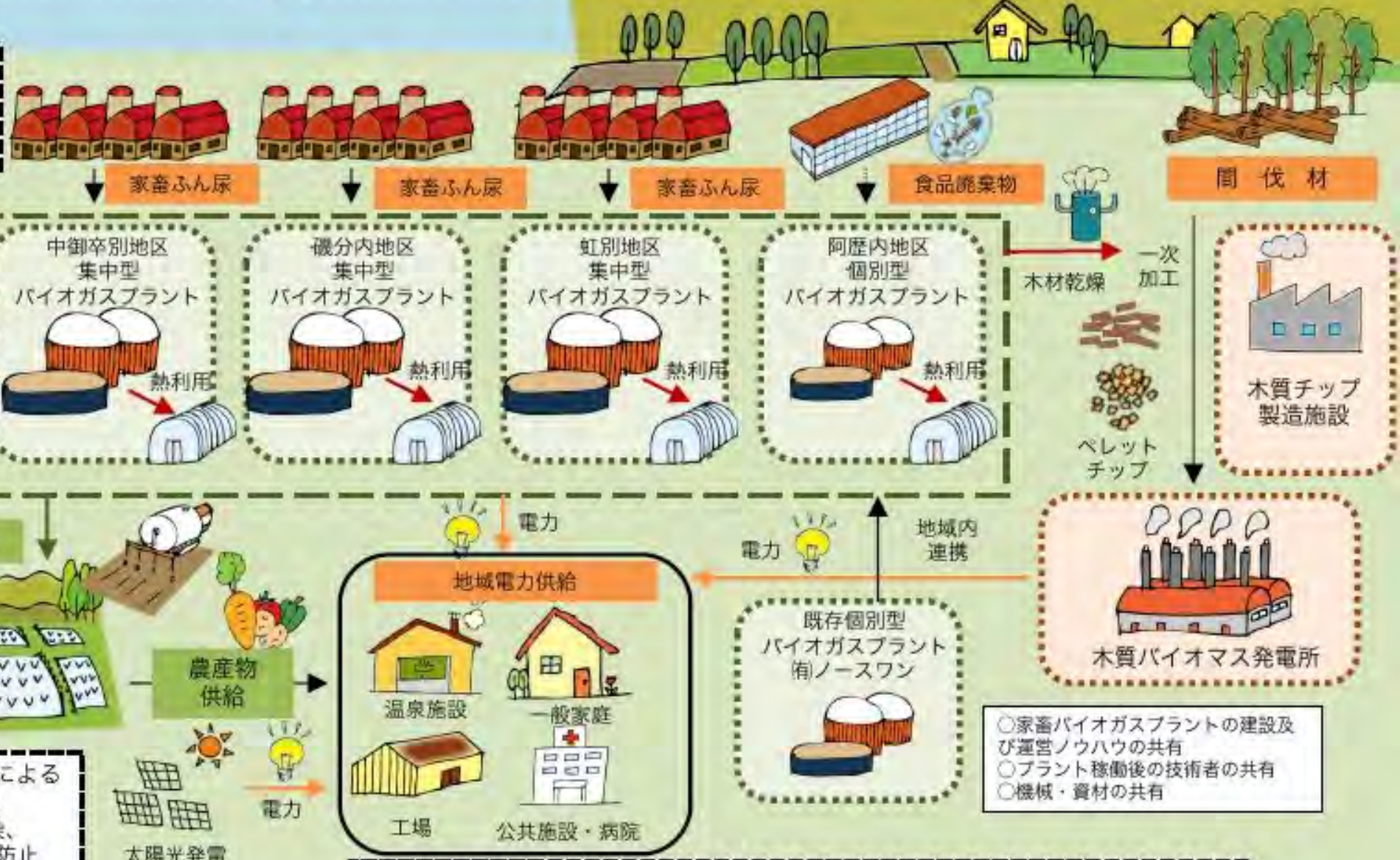
メタン発酵施設を軸とした
バイオマス利活用推進を加速化

メタン発酵施設の建設・運営による家畜
排せつ物の適正処理

地域資源の有効活用及び
再生可能エネルギーの創出

食品産業や
観光産業等の
バイオマス
産業化

新規就農
環境教育
しべちや
農業校



家畜排せつ物による
河川汚染、
地下水汚染、
地球温暖化防止

バイオマスエネルギーによる自立・分散型エネルギー供給、災害に強いまちづくり